

Ⅲ. 技術支援業務

1. はりつき支援

事業概要	本事業は、企業の生産現場で発生する製品の欠点や、緊急的対応が必要な技術的課題及び商品開発におけるデザイン上の問題などに対し、職員を企業に派遣して問題解決に取り組み、継続的な支援を行うことによって企業における品質管理や付加価値の高い商品開発力の向上を図る。														
実施内容	1. 技術的解決・デザイン支援 企業に欠点発生などの早期対応を必要とする技術的課題が生じた時に、職員を派遣し、共同で品質管理や工程管理に必要なデータを収集、分析し、問題解決を図ることを目的として実施している。また、製品開発における製造技術や製品の表現技術・デザインなどについて支援を行う。 令和7年度は、以下の14件の課題について支援を行った。 ① 釉薬の品質管理 ② 焼成窯の特性支援 ③ 上絵付製品の溶出改善 ④ 品質改善支援 ⑤ 異物特定と改善策支援 ⑥ 生地フチ部の気泡発生要因と改善策の支援 ⑦ 焼成変化の分析と製品強度確認、および上絵焼成時のスス状欠点の改善支援 ⑧ 圧力鋳込み成形用泥しょうの調整支援 ⑨ 上絵付製品の溶出に関する改善策支援 ⑩ 急須の過熱対策についての指導・支援 ⑪ 上絵付製品の溶出に関する改善策について ⑫ 生産しているマグカップの寸法が従来より大きくなっているため、マグカップの使用原料および焼成工程の技術支援 ⑬ 陶土の品質のバラツキ防止のため、陶土管理における品質基準（泥漿粘度、粒度分布、熱膨張、窯温度）の構築支援 ⑭ 上絵付製品の溶出に関する改善策支援 2. 陶磁器製食器の溶出試験の支援 陶磁器製食器の鉛溶出基準については、国内基準（食品衛生法）が国際標準化機構（ISO）の基準と同様の内容に改正された。 このため、現行の上絵付製品を試料として鉛・カドミウム溶出試験を実施し、国内基準への適合が維持されるよう技術上の支援を行った。令和7年度は、以下のとおり実施した。 <table> <tr> <th></th><th>検体数 / 企業数</th></tr> <tr> <td>6月</td><td>1点 / 1企業</td></tr> <tr> <td>8月</td><td>1点 / 1企業</td></tr> <tr> <td>10月</td><td>12点 / 1企業</td></tr> <tr> <td>11月</td><td>18点 / 1企業</td></tr> <tr> <td>3月</td><td>6点 / 1企業</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>38点 / 5企業</td></tr> </table>		検体数 / 企業数	6月	1点 / 1企業	8月	1点 / 1企業	10月	12点 / 1企業	11月	18点 / 1企業	3月	6点 / 1企業	合計	38点 / 5企業
	検体数 / 企業数														
6月	1点 / 1企業														
8月	1点 / 1企業														
10月	12点 / 1企業														
11月	18点 / 1企業														
3月	6点 / 1企業														
合計	38点 / 5企業														

2. 技術相談

相 談 内 容	相 談 件 数		
	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
原料・素地（陶土）関係	3	26	11
釉薬（原料・絵具を含む）関係	20	24	16
成形技術	19	24	9
装飾技術関係（加飾・転写・上絵技術）	187	12	53
乾燥・焼成・窯炉関係	348	74	29
石膏型関係	7	1	2
品質（欠点防止）工程管理関係	184	216	161
デザイン全般	281	180	70
ニューセラミックス関係	186	147	225
新材料関連	29	32	10
評価試験方法	83	194	230
環境・リサイクル関係	15	21	13
その他	77	102	224
合 計	1,439	1,053	1,053

3. 関係機関・団体等への支援・協力

項 目	内 容	担当者	支援・協力先
サステナブルイベント支援	サステナブルイベントの開催支援 および同イベントへの出展	吉田 英樹 依田 慎二 山口 典男 秋月 俊彦 高松 宏行 中尾 杏理	長崎県陶磁器卸商業協同組合
地域内循環の実現に向けた 技術支援	廃石膏などの地域内循環に向けた取り 組みへの支援として、壁材の吸放湿試 験を実施	山口 典男 秋月 俊彦	波佐見町
波佐見焼総合講座	波佐見焼総合講座における質疑応答の 進行役と事務局、座学講師	園田 貴子 河野 将明	波佐見焼振興会
西九州テクノコンソーシアム 各種会議	県北地域の産学官民の連携による地域 産業の発展を目的とした連携体の理事 および委員	園田 貴子 山口 典男	西九州テクノコンソーシアム
長崎県政策デザイン会議	県が実施する各施策、事業を政策形成 の段階から「デザイン思考」を取入れ、 効果的な政策構築を図る会議の委員。 年 6 回開催。	桐山 有司	政策企画課
知的財産ビジネス活用ポス ター	県の知財活用支援事業で長崎県発明 協会が実施するマッチング事業の P R 用ポスターのデザイン	桐山 有司	長崎県発明協会
長崎県発明くふう展作品募 集ポスター	長崎県発明協会が実施する発明くふう 展の作品募集ポスターのデザイン		

項 目	内 容	担当者	支援・協力先
食品パッケージ	工業技術センターの食品開発支援センターが企業と共同で開発した新商品の食品パッケージ等のデザイン	桐山 有司	工業技術センター 食品開発支援センター
長崎県「押し魚」のPRツール作成業務委託	長崎県「押し魚」のPRツール作成業務委託に関わる成果物、販促物に関するデザイン支援	桐山 有司	水産加工流通課
「ながさきにこり」デザイン等業務に係る審査会	「ながさきにこり」デザイン等業務に係るプロポーザル審査会の審査員	桐山 有司	ながさき PR 戦略課
夏季及び春季展示販売会用DM	波佐見陶磁器工業協同組合が夏季及び春季に開催する展示販売会の DM のデザイン	桐山 有司	波佐見陶磁器工業協同組合
「パッケージ講習会」の講師紹介及び講習会	諫早市内の企業、デザイナーへのパッケージ講習会の講師紹介とデザイン支援	桐山 有司	諫早市観光コンベンション協会
大阪・関西万博「九州 7 県合同催事」	万博の長崎県コーナーに波佐見焼、三川内焼を展示するための窯元、商品の紹介及びデザイン支援	桐山 有司	ながさき PR 戦略課
「長崎看護ビジョン」ホームページに係る審査会	「長崎看護ビジョン」ホームページのプロポーザル審査の審査委員及びデザイン支援	桐山 有司	医療人材対策室
「長崎四季畑」パンフレット	「長崎四季畑」のパンフレット（表紙・内部レイアウト）に関わるデザインの支援	桐山 有司	農産加工流通課
春季校長会説明パンフレット	県内の中学・高校向けの看護職の説明パンフレットのデザイン	桐山 有司	医療人材対策室
長崎デザインアワード2025	「長崎デザインアワード」の選定委員の推薦等の運営支援	桐山 有司	新産業推進課
令和7年度「長崎県特産品新作展」審査会	長崎県内で開発された新しい特産品を顕彰・振興するための審査会の審査員	桐山 有司	長崎県物産振興協会
第37回長崎俵物認定審査会	長崎俵物認定基準に基づき選り抜きの逸品を認定する審査会の委員	中尾 杏理	長崎県水産加工振興協会
第 63 回長崎県水産加工品品評会	県産水産加工品の中で優良な品質を保持する商品を選定する審査会の審査委員	依田 慎二	長崎県水産加工振興協会
肥前陶磁器工業協同組合連合会 意匠登録審査委員会	肥前地区の陶磁器製品における意匠登録制度の審査会	依田 慎二	肥前陶磁器工業協同組合連合会
第 31 回経営フォーラム in 大村における講演	機能性塗料の開発に関する講演	高松 宏行	長崎県中小企業家同友会
令和 7 年大村商工会議所工業部会 O N S 交流会における講演	製造業の根幹を支える「素材」についての講演	高松 宏行	大村商工会議所 工業部会

4. 企業訪問

4-1 陶磁器関連

目 的	波佐見・三川内地区の窯元および県内陶磁器関連企業を訪問して、企業が抱える技術的課題の解決、センターに対するニーズの把握を行う。
期 日	令和7年5月～12月
訪問企業数	74社（波佐見・三川内地区の窯元）
概 要	当センターが取り組んでいる人材養成事業などの各種事業の紹介とともに、技術上の問題点や生産状況、センターへの要望に関する聞き取り調査を行った。技術上の問題点や課題については、現場で迅速な解決を図り、解決が困難なものは持ち帰って試験・分析を行い問題解決の支援を行った。また、要望により「はりつき支援事業」や「共同研究」を実施した。

4-2 無機材料関連

目 的	当センターとの交流が期待される県内企業等を訪問し、企業の課題やニーズを調査するとともに、センターの業務を紹介し、利用促進を図る。
期 日	令和7年4月～令和8年3月
訪問企業数	17社（地域別）長崎地区2社、県北地区6社（うち東彼3）、県央地区8社、県外1社
概 要	窯業土石、半導体、表面処理、樹脂など様々な業種の企業（県内外）を訪問し、当センターの依頼試験、技術相談、共同研究制度など技術支援業務を紹介した。さらに、企業の技術的課題等についての聞き取りも行ない、課題によっては共同研究を実施するなど、課題解決や新製品開発にも取り組んだ。

4-3 デザイン関連

目 的	波佐見焼の最新トレンドを反映した新商品の開発と販路拡大を目的に、東京ドームシティで開催されている「テーブルウェア・フェスティバル」等へ出展するための商品開発におけるデザイン及び技術の支援を行う。
期 日	令和7年6月～10月
訪問企業数	12社（波佐見陶磁器工業協同組合の窯元及び、長崎県陶磁器卸商業協同組合の商社のうち参加を希望する企業）
概 要	月1回の企画会議への参加及び専門家とともに参加企業を訪問し、参加企業の新商品開発について、デザイン面、技術面から支援を行い、内容によっては、図案調整等の依頼業務で対応した。

5. 技術支援成果等

商品化・製品化に至った成果

成 果 名	内 容	制 度	企 業・団体等
長崎鉄器 飯器 「燦」	直火専用 3 合炊き炊飯器の開発	共 同 研 究	陶磁器製造業 鉄鋼業
長崎鉄器「串揚げセット」	串揚げ用耐熱調理器具の開発	共 同 研 究	陶磁器製造業 鉄鋼業
古陶磁「子犬置物」の再現品	博物館の資料に対して 3D 技術を用いて再現	共 同 研 究	陶磁器工業協同組合
キャラクターをレリーフとして配置した皿	デザイン、試作の支援	共 同 研 究	陶磁器製造業
アカリンダニ忌避剤「ビーズケア」	アカリンダニ忌避剤の開発	共 同 研 究	環境衛生管理業
ジュエリー「alphabet」	デザイン、試作、商品化の支援	共 同 研 究	陶磁器卸売業
町民憲章陶板	大型陶板の成形、焼成支援	技 術 支 援	波佐見町役場 工業協同組合
議場国旗陶板			
議場町旗陶板			